

資料分析表

学年	4年	作成年月日	2013年 8月 1日	
主題名	相手のことを考えて		内容項目	2-(2) 思いやり・親切
資料名	メニューがない料理		出典	どうとくいしかわ
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・親切とは、相手の立場に立ってその人が望む方向にそって支えることであることがわかる。 ・相手の気持ちや考えを思いやることの大切さを知り、誰に対しても親切にしようとする。 			
あらすじ (話題につなげたい場面)	<p>登場人物の心の動き</p> <p>*資料より ・心の中</p>		<p>◎中心発問○基本発問</p> <p>・予想される児童の反応</p>	
①今日の夕ごはんについて、ゆうすけとお母さんが会話する。	<p>*こんな美味しい料理、誰が発明したのかな。 (「ぼく」)</p> <p>*尊敬しちゃうよ。 (「ぼく」)</p>		<p>○卵とご飯で作る料理って、何が思い浮かぶかな。 ・卵かけご飯 ・オムライス ・たまご丼</p> <p>○オムライスって、いつ、どこで、発明されたと思いますか。 ・30年前 ・50年前 ・100年前 ・アメリカ ・フランス ・韓国 ・ブラジル</p>	
②お母さんが、九十年前の大阪の洋食屋(店長=北橋茂男)で実際にあった話を始める。	<p>*茂男は、なぜ小高さんはいつもオムレツとご飯ばかり注文するのか、と不思議に思う。 (「茂男」)</p> <p>・尋ねてみよう。(「茂男」)</p>		<p>○なぜ、小高さんはいつもオムレツとご飯ばかり注文するのでしょうか。 ・胃が悪いから。 ・やわらかいオムレツしか食べられないから。</p>	
③茂男(店長)が小高さん(常連客)の胃の不調を思いやって新メニューを考案し、小高さんが喜んで食べる。	<p>*小高さんの言葉が気になる。(「茂男」)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小高さんのために、卵とご飯を材料にした胃にやさしく栄養がある新メニューを考えよう。 (「茂男」) ・小高さんに喜んでもらえて、よかったです。(「茂男」) 		<p>○なぜ、茂男は、一晩かかっても新メニューを作ろうと考えたのでしょうか。 ・胃の悪い小高さんのために、やわらかく胃にやさしく、栄養があるものを作つてあげようと思ったから。 ・いつも注文する卵とご飯だけを使つただけでも、新しい胃にやさしい料理が出来るんだよと教えてあげたかったから。 ・小高さんの喜ぶ顔が見たかったから。</p>	
④ゆうすけがオムライス誕生の物語に感動し、口いっぱいにオムライスをほおばる。	<p>*オムライスには、こんな物語があったんだね。 (「ぼく」)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茂男さんはやさしいなあ。 (「ぼく」) ・茂男さんの、小高さんのことを見てあげた思いやりの気持ちは素敵だなあ。 (「ぼく」) <p>*今晚のオムライスは、いつも以上にやさしい味がするなあ。(「ぼく」)</p>		<p>○「うまい。」とさけんだ小高さんの声を聞いて、茂男はどう思ったでしょうか。 ・やってよかった。 ・小高さんが喜んでくれて、うれしいな。 ・また、他の人が喜ぶ料理を作ろう。</p> <p>○誰かから思いやりの気持ちをもらったこと、優しく感じることを、してもらったことはありますか。そのとき、どんな気持ちでしたか。</p>	

